

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	帯広市総合ケアセンター百年の森（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月13日		2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年11月13日		2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	介護と共生型なので幅広い年齢層の人たちと過ごすことができ、お互いに意識し合い、交流を通して挨拶や気遣いが期待できます。	一緒に楽しめる季節の行事を企画したり、登所、降所の時には手を振ったり挨拶をするようにしています。	介護側と連携しながら季節以外の場面でも、いつでもコミュニケーションが図れるような活動内容や場所を広げていきます。
2	保護者からの相談に対して、丁寧に応じています。	事業所内に看護師、柔道整復師も在籍しているので、お子様の状況を直接見て、相談をしたりアドバイスを受けたりする事ができます。	引き続き、アドバイスを活用していきます。セルフプランの利用者様、ご家族の困りごと、ご相談に応じ、ケア会議等が必要な時は事業所側から提案していきます。
3	長期休みや季節に応じたイベントや簡単な調理、縁日、郊外療育等行っています。	調理は食べ物が完成するまでを一緒に見学したり、実際に参加したり、自分たちで作った達成感やみんなで食べる楽しさも共有できます。縁日は介護の利用者様と共にお祭り気分を楽しみ、いつも以上の笑顔を見る事ができます。郊外療育は安心安全に遊べる場所に下見に行ったり、体験先と打ち合わせをして計画を立てています。	引き続き子ども達の興味が広がるような計画を立案したり、天候や年齢に応じた体験ができる場所を増やせるように、地域の情報を収集していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	見学に来られた際に、共生型の状況や室内環境を見て、遠慮されることがありました。	共生型の魅力を伝えられていないことが原因だと思います。	共生型ならではの、異なる年代の人たちの交流で挨拶が自然とできるようになること、会話を楽しめるようになり表情や表現が豊かになるといった魅力をさらに発信していきます。学習や制作等で集中力を要する場面では、個室やパーティションを活用することで周りの声や音、刺激を減らしている事を伝えていきます。
2	ご家庭との連携は電話やメール、面談で随時対応しているが、連携にばらつきがあります。	面談は希望があった時に随時行くと伝えていましたが、十分に周知されていないことが原因だと思います。	ご希望に合わせて面談ができる事をお便りや送迎で直接お会いした時に、よりお伝えしていきます。
3			